

勸 善 懲 惡 錦 画 図 解

第八號

世の中何をばう江の三丁目

きて積る山川太助が女房せられた名が成る心小庭で
 やる四月廿八日世を宇治川のわたりをあらう方へ
 とる雨の水を増え宇治の川づら打咏め泡沫夢如く佛も
 と浮く此世こそ迫り何とんと思ひ絶水の怜や宇治が
 己身を投るいつの故と誰自腹を浮沈むを折るは是
 第四區を堀口治助が人通りより此縣を打撃
 急な宇治川に踊り流る女を抱きと辛うて助け
 舉るに木と切られ鳩尾のつら聊やこの有
 を焚火をきて暖めつて飯と分抱る来
 壽余やまざり人漸くあつと頼生一と
 依りて其住所を問ひ早速京都府へ
 届く京都府より大坂府へ
 届合より女を引
 渡す梅田治全
 身を捨て女を救ひ
 一と神妙なりと
 京都府より御賞
 詞有金七拾五
 錢賜りしと



出版所

本町四丁目
藤井時習

勸善懲惡錦画図解8号 文庫10-8072-4

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library